

青い空に浮かぶ白い雲 4

—銀賞とかき氷—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 意志あるところ 必ず道はひらける

1 快挙! 東大和市立第一中学校吹奏楽部 『銀賞』

わが東大和市立第一中学校吹奏楽部が快挙を成し遂げました。

平成24年9月9日(日)、会場は世田谷区の三軒茶屋にある昭和女子大学人見記念講堂、11時40分演奏開始。

現在、市内には619校の公立中学校があります。さらに私立の中学校も加わる東京都中学校吹奏楽コンクールは、事前の部門別大会の中から選ばれた中学校14団体による全国大会出場権をかけたコンクールでした。その14団体のうちのひとつに東大和市立第一中学校があるのです。

代表校はどの学校も研ぎ澄まされた演奏を披露し、心地よい響きを感じさせてくれます。

そして、東大和市立第一中学校、午前の最後の演奏です。準備が終わり、静まり返る人見記念講堂の中で演奏が始まります。指揮 日下部善哉教諭の手が動き、テンポのよい課題曲の演奏が始まりました。

それまで心地よく聴けていた私の心の中は、その時から、テンポがスローになりすぎていないか、響く音のバランスはどうなのだろうと、素人ながらも聴き分けようとしていました。

いつの間にか肩に力が入り、ようやく肩の力が抜けたのは、自由曲、喜歌劇「ロシアの皇太子」セレクションの途中に入る「元気でさわやかな声と手拍子」を聴けた時でした。

「あー東大和市の子どもたちが 大勢の前でこんなに頑張っている・・・」
そう思うと涙が出てきました。

おめでとうございます。 東大和市立第一中学校の皆さん。



2 かき氷

前日の土曜日は、5地区祭の様子を見に行きました。

この日はまさに炎暑。その中で第五小学校職員は「綿菓子」、第二中学校、第三中学校生徒たちはそれぞれ「かき氷」の店を出していました。そこに小学生、中学生、地域の人たちがひっきりなしに並びます。二中と三中は隣どうして声をからしながら売り上げを競っています。二中は元祖かき氷、三中はトッピング対応のNEWかき氷でした。20年ぶりに食べた二種類のかき氷と綿菓子はどれも美味しく、「子どもたちは地域の財産、学校もそこで働く先生も地域の財産」そんな様子を見ることのできた土曜の昼下がりでした。

第52回東京都吹奏楽コンクール

金賞代表 玉川大学中等部

金賞代表 小平市立小平第三中学校

金賞 羽村市立羽村第一中学校

金賞 小平市立小平第六中学校

銀賞 東大和市立第一中学校

銀賞 中央区立日本橋中学校

銀賞 町田市立南中学校

銀賞 青梅市立第三中学校

銀賞 足立区立第十四中学校

銀賞 武蔵野市立第三中学校

銅賞 練馬区立田柄中学校

銅賞 板橋区立志村第四中学校

銅賞 足立区立六月中学校

銅賞 江東区立深川第三中学校